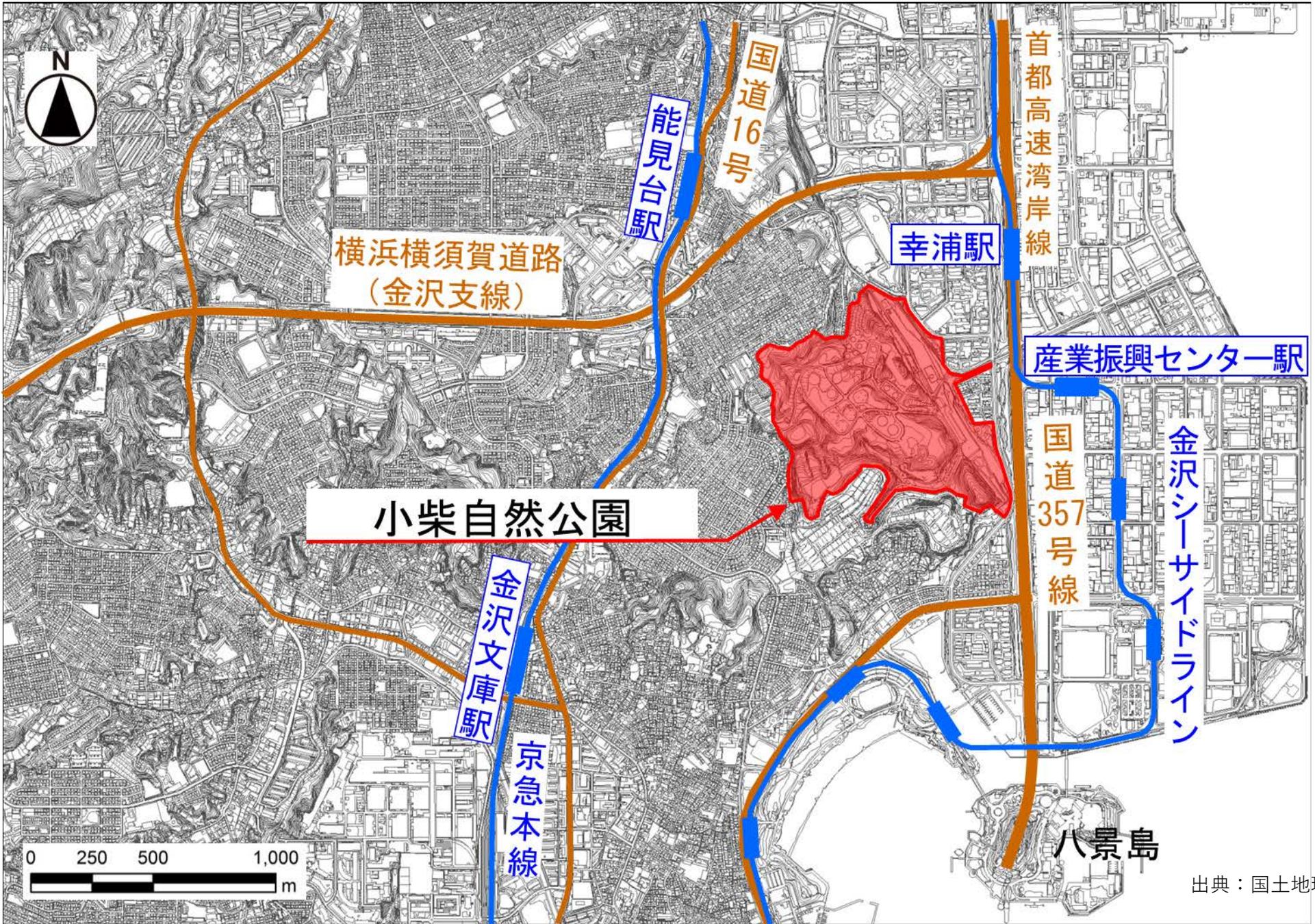


小柴自然公園の整備 —誰もが楽しめる公園を目指して—

環境創造局公園緑地整備課特別整備担当

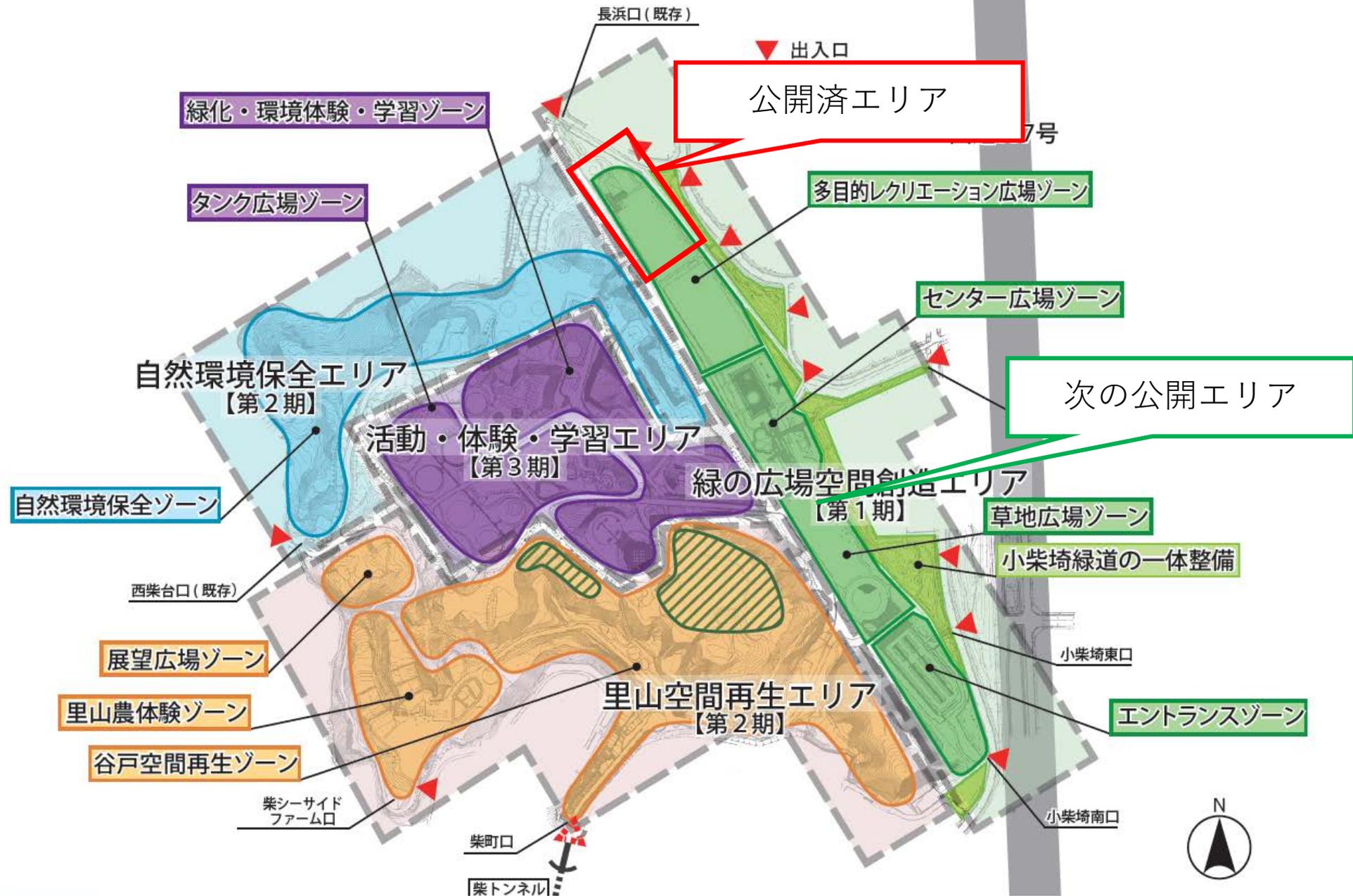




出典：国土地理院発行地形図

小柴自然公園について

- 日本海軍の基地→アメリカ軍の基地→返還（平成17年）
- 総面積約55ha（金沢動物園やこども自然公園と同じ規模）
- 整備完了は令和14年度ごろを予定
- 今年7月30日に一部を公開済み（1.5ha）
- 第1期エリア（約13ha）を令和4～5年頃開園を目指す



自然体験・学習などをメインに、個人利用だけでなく、学校の遠足などにも使われることを想定した大型公園です。

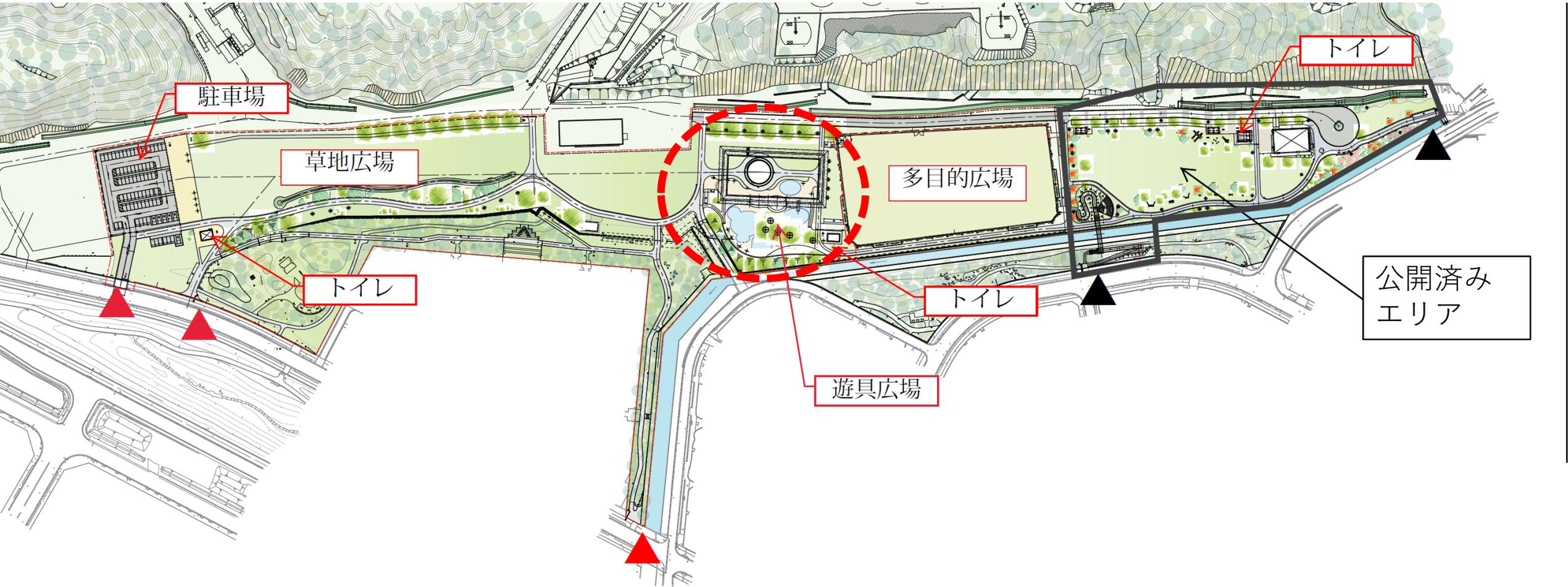






第1期エリアの平面図

※先ほどの図から時計回りに90度回転しています



南北 約1 km ほぼ平坦 (埋立地)

ヒアリングの経緯

市内で活動されている4団体からヒアリングした。

【ヒアリング団体】

横浜市総合リハビリテーションセンター、一般社団法人ラシク045、
横浜市心身障害児者を守る会連盟理事会、横浜障害児を守る連絡協議会(小学生部会)

主な意見

【遊具】	車いすのままでも遊べる遊具がほしい。
	遊具の難易度でゾーン分けすると周りを気にして遊びづらい (対象年齢より低い遊具で遊ぶこともあるため)
【広場空間】	休憩スペースや木陰が多いほうがよい。(体力を消耗しやすい子もいるため) 遊ぶ場所の中にも休憩スペースがあったほうがよい。
	クールダウンスポットは他の遊び場と距離があるほうがよい。 音の出る遊具の配置は配慮したほうがよい。(音に敏感な子どももいるため)
	周りに外周柵があったほうがよい。(子供が飛び出して行ったりする心配がないように)
【トイレ】	近くのトイレは利用できるように工夫してほしい。 大型のおむつ交換台がほしい。(車いす利用の子はおむつ利用が多いため) 着替えをできるスペースがあったほうがよい。
	鍵を二重でつけてトイレ中にドアを開けることがないようにするとよい。 順番待ちの位置が分かるように足跡マークや並ぶ列がわかるマークをつけるとよい。
【サイン】	初めての子でも遊び方が分かる案内がほしい。 文章ではなく、絵やマークなどで一目で分かる案内がほしい。

インクルーシブの考え方を導入した大型遊具広場

全てのこどもが**同じ空間**で体験や景観を**共有**できる機会を得ることができる。



公園におけるインクルーシブの考え方

- 障害の有無や性別、年齢などに属性により排除されないこと。特に公園では、障害の有無によらず利用できることに注目。
- 互いの違いを理解し合いながら、経験を共有し遊ぶ。
- 結公園（東京都世田谷区）や、秋葉台公園（横浜市）などの国内事例がある。

■ 多様なこどもが共に利用できる遊具



誰もがアクセスしやすい遊具、多様なこどもが共に利用できる遊具を積極的に導入する。



視覚・聴覚・触覚で楽しむ遊具



車椅子に乗ったままで楽しむ複合遊具

車椅子のまま一緒に遊べる遊具



スライダーウォール

サポート付ブランコ



■ 落ち着ける場所がある



様々な休憩空間、日陰空間を創出し、誰もが自分のペースで休み、居場所を見つけることができる



シェルター遊具



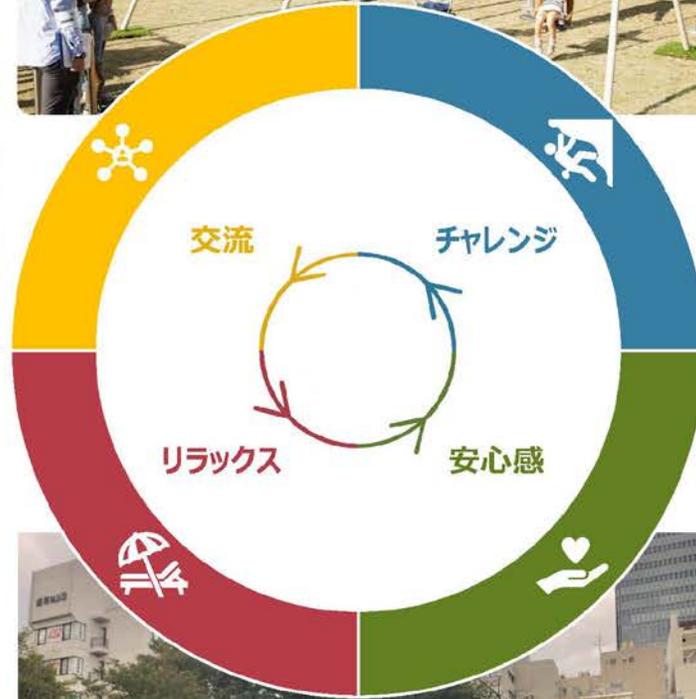
障害者の利用に配慮したトイレ



テントエリア



日陰で休めるスペース



■ 全てのこどものチャレンジを促す



難易度に幅のある遊具を取り入れ、自分にあった遊びを楽しめる。

大型複合遊具



複合遊具

こどもの行動特性に配慮した



誰でもわかりやすいサインや案内

こどもの行動特性に配慮するため、遊びの伝え方等をビジュアルで工夫し、障害と年齢に関わらず誰でも分かりやすいサインを計画する。



順番待ちがわかりやすいように、足跡マークや色分け等を工夫する。



遊具の使い方や遊びの助けになるような内容をわかりやすく説明したサインを設置する。



遊具広場のガイド動画を作成し、ホームページ等で閲覧できる



小柴自然公園 遊具広場計画案

市内の関係4団体にヒアリングを実施し、具体的な整備内容を検討した。



遊具機能に配慮したゾーニングを設定

日よけ休憩空間

- ・緑陰を設ける
- ・多様な休憩スペースを配置

小型バーゴラ

幅広のベンチ

サポートベンチ

広場周辺施設

- ・各所に水飲み
- ・駐輪場、を設置

広場舗装

- ・遊具周りはゴムチップ舗装
- ・遮熱舗装により暑さを軽減

案内サイン

- ・主要出入口に遊具配置とインクルーシブの考え方を掲示

情報共有の仕組みづくり

- ・QRコードやホームページを活用。

周囲に横断防止柵を設置

- ・子どもの飛び出防止
- ・夜間閉鎖管理が可能
- ・植栽帯 (w0.5~1.0m) 内に設置

つどいの広場

- ・遊具の中心で人が集まる
- ・シンボリックな空間

アクティブ系遊具

インクルーシブ配慮遊具

- ・夏季利用に配慮し木陰を多く配置。

インクルーシブ可動遊具

- ・可動式遊具(揺れる、回る)を同じゾーンに配置。

クールダウン スポット

トイレ

- ・多目的、男子、女子トイレを設置
- ・おむつ交換台を設置

※遊具などの写真はイメージです

至 並木口

開園に向けて
着実に整備を進めて参ります